

「大谷地区景観づくり指針」の概要

目的

大谷特有の景観の保全、観光拠点としての魅力創出及び地域住民の生活環境の調和を図るため、将来どのような景観を目指すのか、どのような景観が望ましいのかを示し、その実現に向けて、どのような景観づくりの考え方や方法があるのかを、具体的な事例を紹介しながら提言し、地域住民や事業者、行政等が大谷地区における景観づくりのイメージを共有できるようにしたもの。

構成

本指針は、大谷全体の景観づくりの目標像と方針を定めた上で、景観づくりの配慮事項として6つのエリアを定め、エリア別の景観特性に応じた具体的な方策例を示している。

景観づくりの目標像

豊かな自然と大谷石文化が織りなす大谷ならではの景観を守り、育む
 ~行ってみたい、過ごしてみたい、いつまでも暮らし続けたい まちなみの形成~

大谷全体の景観づくりの方針

景観を保全し観光資源として活用するために...	<ul style="list-style-type: none"> ● 大谷石のまちなみを大切にします ● 岩肌による「感動する眺め」を守ります
大谷の観光機能を充実し、にぎわいを創出するために...	<ul style="list-style-type: none"> ● 景観を通じて、大谷石文化を発信・継承します ● 大谷石のまちなみに合うにぎわいを誘導します ● 良い眺めや夜間景観を整えます
観光と生活が共存するために...	<ul style="list-style-type: none"> ● まちなみに配慮した屋外広告物を誘導します ● 住環境と観光地の共存を目指します ● 周辺の自然にも配慮します

エリアごとの景観づくりの方針と主な配慮事項

<p>観光拠点エリア</p> <p>方針 大谷石のまちなみの維持と観光資源としての活用 大谷石の岩肌の眺望の保全（「感動する眺め」を整える） 大谷石のまちなみに相応しい建物、商業施設、屋外広告物の誘導によるにぎわい創出 眺望や魅力的な夜間景観の創出</p> <p>配慮事項 まちなみに調和する落ち着いた色彩の採用、天空照射を控える・・・など</p>
<p>沿道住宅エリア</p> <p>方針 街道に存在する大谷石建造物の保全・活用 街道から多気山や古賀志山への眺めに配慮したまちなみの誘導 まちなみへの屋外広告物の配慮</p> <p>配慮事項 住宅や新規の店舗での大谷石の使用の推奨、遠方の山並みの眺望の配慮・・・など</p>
<p>市街地エリア</p> <p>方針 観光地の入り口として、機能的で観光地への期待感を高める建物や屋外広告物の整備・誘導</p> <p>配慮事項 建物のまちなみへの配慮・・・など</p>
<p>集落エリア</p> <p>方針 大谷石文化の発信と継承 周辺の自然環境や住環境の維持</p> <p>配慮事項 周遊観光の資源として活用・・・など</p>
<p>ニュータウンエリア</p> <p>方針 住み心地のよい住居環境の維持管理</p> <p>配慮事項 まちなみに応じたデザイン・・・など</p>
<p>自然景観エリア</p> <p>方針 山並み、森林の保全 田畑の保全 太陽光発電施設への配慮</p> <p>配慮事項 山肌や稜線を壊す開発行為や工作物の設置を控える・・・など</p>

大谷地区景観づくり指針 エリア区分図

